

令和 7 年度 若手技術者の離職防止に向けた会議について

1 日時：令和 7 年 10 月 1 日（水） 13：30～15：00

2 会場：山梨建設会館 4 階 会議室

3 議題：

（1）令和 7 年度やまなし建設産業担い手確保・育成アクションプランの
実施状況について

（2）講演「山梨県職員×建設業×女性

多くの人に支えられ私が歩んできた道」

石川県能登町建設水道課 主査 築野淳子氏（けんせつ小町甲斐）

〔講演の概要〕

- ・ 講師は、石川県能登町へ派遣された県の技術職員である築野淳子氏。
- ・ 自らのキャリアパスを振り返りながら、働き方に着目して詳細に解説。
- ・ 講演の内容
 - ⇒高い技術力を持つ上司や先輩に教わり、仕事の厳しさを知った。
 - ⇒身体的・精神的負荷が大きい仕事をした際は辛かったが、この経験が
その後の自信につながった
- ・ 講演の結び
 - ⇒背中を追いかけてくなる上司や先輩との出会いがあった。
圧倒される業務遂行能力を誇る先輩、多くは語らないが背中で
語る先輩、話が面白く面倒見のいい先輩などの尊敬できる上司
や先輩との出会いが多くあり、真似をすることで自身の成長に
つながった。

〔会議構成員からの意見・講師との問答（フリートークを含む）〕

構成員）派遣先で大変なことや、乗り越える方法は？

講 師）知らない土地で知らない人たちと、作法もわからず仕事をすることは大変だったが、同じ境遇の同僚らと支え合ってやってきた。

構成員）若手職員はすぐに辞めてしまうが、どう接したらいいのか？がんばり方をどう教えたらいいのか？

講 師）乗り越えた先に達成感があることを伝えるといいのでは。ただし、それすらも求めているケースも多いので難しいが。

構成員）残業をしたくないという人も一定数いる。

講 師）離職防止のためには、業務量に応じた人員配置、適切な手当支給は必須であると思う。

構成員）人間関係がつくれず、簡単なことも気軽に聞けない若手が多いと感じる。

講 師）県の水防訓練の例のように、通常業務以外の仕事を共同でやると人間関係がつけられるような気がする。

構成員）社内の人とは別に、同業他社の社員同士のつながりがあると悩みを聞けたりしていいと思う。

けんせつ小町甲斐はいい取り組みであり、これに入る前は他社とのつながりはなかった。性別関係なしのつながりもあってもよいのでは。

〔考察〕

- ・ 励ましあえる同僚の存在は重要。
- ・ 社内での通常業務以外の仕事での共同作業は、人間関係をつくるチャンスかもしれない。
- ・ 同業他社の社員とのつながりが有効かもしれない。

以上